

3. 平成 26 年度 がん患者支援他都市先進事例調査結果表

(1) 患者サロン

グループ	調査先名称	実施主体	設置場所	特色（組織・人材・財務など）	本市で参考となる点・形態分類
名古屋	名古屋市がん相談情報サロン・ピアネット 【団体主導型】 ※患者サロン機能を備えた相談・情報提供窓口であり、団体の活動拠点、相談は、ピアサポーターが受けている	NPO 法人ミーネット (名古屋市事業委託)	民間ビルに常設 (名古屋市借り上げ) 【院外】 【オープンスペース】	【組織】 ①団体から行政に働きかけること（要望書の提出）で発足。 ②色々な患者会を経て、現在の体制になる。自由な会は、正しい情報や勧誘が行われて問題となる場合がある。 ③毎年度活動内容の評価を受けている。 【人材】 ①常時 1～2 名のピアサポーターと事務職員を配置。 【財務】 ①委託費 約 5,000,000 円、事務所賃料は、名古屋市が直接支出（約 3,000,000 円） 【その他】 ①がんの種別ごとの患者会や有料の講演会（連続シリーズ）の実施。 ②高齢がん患者の退院支援ピアサポート、インターネットラジオ配信、文化センターと協働による講座、商店街との協働によるイベントなど事業を拡大。	【組織】 【人材】 【財務】 【形態分類】 (団体主導型) (院外) (オープンスペース) (行政→団体へ委託) (高コスト)
神奈川	JA 神奈川県厚生連相模原協働病院 患者サロン 【病院主導型】	病院の患者総合支援センター	JA 神奈川県厚生連相模原協働病院 【院内】 【オープンスペース】	【組織】 ①患者のための太極拳教室が発展。 ②3 年経過し、参加者が固定（現在約 15 人、うち男性 1 人）、参加促進のため、ミニ講義を実施。 ③患者と目的や運営方法などを決定。 ④県立がんセンターの患者サロンから、アドバイスを受けている。 【人材】 ①講義の講師やグループでの会議の助言者として院内職員が協力。 【財務】－	【組織】 【人材】 【財務】－ 【形態分類】 (病院主導型) (院内) (オープンスペース) (低コスト)
東京	がん・感染症センター都立駒込病院患者サロン 【団体主導型】	がん・感染症センター都立駒込病院	がん・感染症センター都立駒込病院 【院内】 【オープンスペース】	【組織】 ①基本的に場所の提供のみ。 ②「患者サロン」の患者団体の利用に係る運用規定を作成。 ③事務関係を含め、負担が増すので、院内合意形成が必要。 【人材】 ①各種イベントの開催は、病院、NPO 法人がん患者団体支援機構、患者会のそれぞれが主催、各種連絡調整は、事務局が実施。 【財務】－	【組織】 【人材】 【財務】－ 【形態分類】 (団体主導型) (院内) (オープンスペース) (低コスト)

兵庫	明石話そう会 【患者会主導型】	ゆずりは明石	兵庫県立がんセンター 【院内】 【クローズドスペース】	【組織】 ①団体が病院に働きかけることで事業開始。 ②団体は、開設にあたり、先進都市島根県（県庁、松江市立病院、松江赤十字病院）を視察。 ③患者会のみで運営、会員の中から、団体独自のピアサポート講習受講者を相談員として配置。 ④病院は、場所の提供のみ、患者サロン運用規定など無し。 ⑤年1回、看護部との話し合い有り。 ⑥病院と患者会の橋渡しは支援センターが行う。 【人材】 ①スタッフは、無償ボランティア。 【財務】 ①ペットボトルのお茶・紙コップ代のみ。	【組織】 【人材】 【財務】 【形態分類】 （患者会主導型）（院内）（クローズドスペース）（低コスト）
福井	メディカルカフェ（患者サロン） 【病院主導型】	院内集学的がん診療センタースタッフ（医師や看護師など）・院内ピアサポーター	福井県済生会病院 【院内】 【オープンスペース】	【組織】 ①病院内の組織「集学的がん診療センター」のスタッフが中心となりサロンを運営。 ②サロンの開催日は、日時を定めて運営（毎月第1金曜日）。当日は複数（約10人）の他職種の医療スタッフが関与し、講座なども開催。 ③サロンを実施していない日は、場所のみ提供。職員1名が常駐。 【人材】 ① サロン開催日は、集学的がん診療センター職員以外の病院の多職種も参加。ボランティアも協力。 ② サロン開催日にあわせて、午後からハローワークより職員が出張し、就労相談を実施。 【財務】 －	【組織】 【人材】 【財務】 － 【形態分類】 （病院主導型）（院内）（オープンスペース）

(2) ピアサポート

グループ	調査先名称	実施主体（委託者）	設置場所	特色（組織・人材・財務など）	本市で参考となる点・形態分類
名古屋	<p>名古屋市がん相談情報サロン・ピアネット</p> <p>【団体主導型】</p> <p>※患者サロン機能を備えた相談・情報提供窓口であり、団体の活動拠点、相談は、ピアサポーターが受けている</p>	<p>NPO 法人ミーネット</p> <p>（名古屋市事業委託）</p>	<p>民間ビルに常設</p> <p>（名古屋市借り上げ）</p> <p>【院外】 【クローズドスペース】</p>	<p>【組織】</p> <p>①毎年度活動内容の評価を受けている。 ②個人情報取り扱い規定有り。 ③認定ピアサポーターのみ有償。 ④事務所での対応なので、情報提供など十分な対応が可能であるが、相談時間が院内実施より長くなる。 ⑤組織が大きくなると細部に目が届かない→内部に不満（不適切な行動をする人の存在 ※内部アンケートで発覚）。</p> <p>【人材】</p> <p>①常時 1～2 名のピアサポーターと事務職員を配置。 ②ピアサポーター養成（自主事業・有料）、丁寧な教育を実施。（年間約 100 時間の講義、費用は 30,000 円、大阪府や石川県からの受講者もいる、受講後、新たな団体を立ち上げる人もいる）。 ③県では、ピアサポーターの養成なし。 ④年間 2 回のフォローアップ講座（事例研修会）有り。 ⑤ピアサポーターのためのメンタルヘルスケア・ガイドを作成。</p> <p>【財務】</p> <p>①委託費 約 5,000,000 円、事務所賃料は、名古屋市が直接支出（約 3,000,000 円）。 ②財務内容は不安定、資金獲得のため、会議のテーブル起しを請け負ったこともある。</p>	<p>【組織】</p> <p>【人材】</p> <p>【財務】</p> <p>【形態分類】 （団体主導型）（院外）（クローズドスペース） （行政→団体へ委託）（高コスト）</p>
	<p>名古屋市立西部医療センター</p> <p>【病院主導型】</p>	<p>NPO 法人ミーネット</p> <p>（病院が委託）</p>	<p>名古屋市立西部医療センター</p> <p>【院内】 【オープンスペース】</p>	<p>【組織】</p> <p>①地域連携室が広報等を担当。 ②終了後ミーティングをして情報を共有。 ③平成 25 年 11 月から実施、病院との連携は今後の課題、県内の他の派遣先病院では、病院スタッフとのつながりは薄い。 ④委託先の NPO 法人ミーネットが、平成 21 年度より、愛知県内のがん診療連携拠点病院へ、ピアサポートを派遣、平成 26 年度現在 13 病院。 ⑤情報提供に限界、相談者が気軽に立ち寄れるメリットはある。</p> <p>【人材】</p> <p>①病院が NPO 法人ミーネットに委託し、派遣を受ける。</p> <p>【財務】</p> <p>①ピアサポートには交通費のみ支給。</p>	<p>【組織】</p> <p>【人材】</p> <p>【財務】</p> <p>【形態分類】 （病院主導型）（院内）（オープンスペース） （病院→団体へ委託）（低コスト）</p>

<p>神奈川</p>	<p>ピアサポートよこはま</p> <p>【団体主導型】</p>	<p>NPO 法人キャンサー ネット ジャパン (CNJ) と神奈川県 の 協働事業</p> <p>※「かながわボランティア活動推進基金 21」による助成という形での関与</p>	<p>ピアサポートよこはま (マンションの一室)</p> <p>【院外】 【クローズドスペース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域がん診療連携拠点病院に派遣 (現在は、病院と直接委託契約を結ぶ場合が多い) ・国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院、大和市立病院 	<p>【組織】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①団体自身のピアサポート事業立ち上げには、まちづくりコンサルタント「コトラボ合同会社」が関与。 ②CNJ は、科学的根拠に基づくがん医療情報の発信、普及、啓発に 20 年以上取り組むがん患者支援団体。 ③病院における個人名は、ID 化して事務所に持ち帰る。 ④協働事業実施協定書の作成、役割分担の明確化。 <p>【人材】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ピアサポーターの養成は、「がん情報ナビゲーター」、「乳がん体験者コーディネーター」の養成講座 (自主運営 e ラーニング) の修了 (認定) 者のうち、ロールプレイ・ケーススタディ (3 回) を終了した者。 ※ピアサポーター養成に特化した講座はない。医療関係者がステップアップとして講座を受ける場合も多い ※株式会社ソラスト (関東エリアで病院関連の人材派遣、研修等を展開) の関連会社を実施 ②実際の活動は、CNJ と雇用契約を結ぶ。ピアサポーターになりたい人が適任とは限らないため、見極めが大事、雇用なので選別が可能 (不適切な人にはやめてもらう)、ボランティアではなく、雇用契約を結ぶことで、独断や勝手な行動をコントロールし、業務として位置づけ、責任を持ってもらう。 ③CNJ 主催のセミナーなどの参加による認定継続 (ポイント制のメニューをこなす、3 年間で 15 ポイントが課せられている。 ④月 1 回ケース検討会有り。 ⑤公的な場所の提供を求める要求有り。 <p>【財務】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①CNJ 自身は、大手企業 30 社がスポンサー (製薬、保険、出版、マスディア) であり安定している (自立型 NPO 法人)。 ②県が、ボランティア団体等との協働事業の支援を目的に「かながわボランティア活動推進基金 21」を設置しており、それを活用し、3,000,000 円の事業負担金の交付を受けている。 ※基金は、今年度で終了、今後の運営が課題となっている。 ③病院に 1 名派遣する場合の年間経費約 350,000 円。 <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①医師の負担が減り、診療がスムーズになったと院内職員から聞いている。 	<p>【組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自の研修プログラムを持つ NPO であり、東京や神奈川でのピアサポートの実績も豊富であるなど、安心して地域型のピアサポートの運営を委託することが可能。 <p>【人材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO がピアサポーターを管理してくれるので、それに対する市の負担やリスクは小さくなる。 <p>【財務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所代、光熱水費、派遣料などの経費は必要。 <p>【形態分類】</p> <p>(団体主導型) (院外) (クローズドスペース) (高コスト)</p>
------------	---	---	--	---	---

<p>神奈川</p>	<p>JA 神奈川県厚生連相模原協働病院 ピアサポート</p> <p>【団体主導型】</p>	<p>NPO 法人がん患者ネットワークジャパン (CNJ) と神奈川県の協働事業</p>	<p>JA 神奈川県厚生連相模原協働病院</p> <p>【院内】 【オープンスペース】</p>	<p>【組織】</p> <p>①CNJ と県の協働事業に、病院が協力する形で開始（場所の提供）。 ②ピアサポートの事例検討会に病院スタッフが介入。 ③導入時、医療職の反発（特に診療科の医師）が大きかった。 ④開始にあたり、医師会や病院協会に周知、院内周知は、事業開始後に行った ※医師会の理解は得られにくい。</p> <p>【人材】</p> <p>①CNJ に委託。 ②ピアサポーターの育成が課題（質が問題）。</p> <p>【財務】</p> <p>①CNJ と委託契約 1 人派遣費用年間約 350,000 円。 ②備品（ファイルやパソコン）は、CNJ が準備している。 ③ピアサポート事業の継続に向けた病院の自立（費用の病院負担）。</p>	<p>【組織】</p> <p>【人材】</p> <p>【財務】</p> <p>【形態分類】 （団体主導型）（院内）（オープンスペース）（高コスト）</p>
<p>東京</p>	<p>がん・感染症センター都立駒込病院ピアサポート</p> <p>【団体主導型】</p>	<p>NPO 法人がん患者団体支援機構 (病院が委託)</p> <p>※平成 19 年度から開始、平成 24 年度のみ NPO 法人がん患者ネットワークジャパン (CNJ) が受託</p>	<p>がん・感染症センター都立駒込病院 (敷地内別棟)</p> <p>【院内】 【クローズドスペース】</p>	<p>【組織】</p> <p>①NPO 法人がん患者団体支援機構は、2005 年 5 月の第一回がん患者大集会の支持母体として設立。全国のがん患者会を組織化、現在 34 団体が加入（兵庫県では「ゆづりは明石」が参加）。 ②年 3 回病院側と連絡会を実施。</p> <p>【人材】</p> <p>①スタッフは、有償ボランティア。 ②NPO 法人が独自にピアサポーターを養成、年 4 回フォローアップ研修（医師、臨床心理士の評価、指導）を実施。</p> <p>【財務】</p> <p>①業務委託 1,263,600 円（単年度契約では、事業運営が困難との意見がある）。 ②平成 19～21 年度に都のモデル事業として開始（都立駒込病院と武蔵野赤十字病院で実施）。 ③平成 22～23 年度は病院の自主事業、委託先とは特命随意契約。 ④平成 24 年度から競争入札に変更し、広く事業者を募集。</p>	<p>【組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入に際しては、院長の理解が必要。 特に大きく場所を構える必要はない。 <p>【人材】</p> <ul style="list-style-type: none"> NPO が、ピアサポーターを管理するので、それに関する病院の負担やリスクは小さいが、ピアサポーターのフォローは必要。 <p>【財務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最低限の派遣費用は必要。 <p>【形態分類】 （団体主導型）（院内）（クローズドスペース）（高コスト）</p>

兵庫	明石話そう会 【患者会主導型】	ゆずりは明石	兵庫県立がんセンター 【院内】 【クローズドスペース】	【組織】 ①場所の提供のみ、患者サロン利用に関する運用規定など無し。 【人材】 ①無償ボランティアが実施。 ②患者会独自の講習会受講者をピアサポーターとして配置。 ③平成 24 年度に、兵庫県ピアサポーター養成研修受講。 ④平成 25 年度には、年間 4 回の講習会を実施。 【財務】 ①明石市助成金（市民活動サポート事業ステップアップコース、上限 300,000 円、毎年 50,000 円減、3 年で終了、平成 25 年度開始。 ②敬愛まちづくり財団の助成金「いのちと生きがいプロジェクト」として、200,000 円 ※この財団は、しみん基金・Kobe にも寄付。	【組織】 【人材】 【財務】 【形態分類】 （患者会主導型）（院内）（クローズドスペース）（低コスト）
福井	メディカルカフェ（ピアサポート） 【病院主導型】	がん患者ピアサポートの会 （代表は院内患者会に所属）	福井県済生会病院 【院内】 【オープンスペース】	【組織】 ①患者サロンの中で活動。 ※患者サロン活動の中から、元患者の方が中心となりピアサポートの会（任意の団体）が立ち上がるが、今後は、ピアサポートのスキルアップが課題と言われている ③病院は「ピアサポートの会」と運営方法等相談は行っていない。 【人材】 ①ピアサポーターの養成研修については、院内医師がボランティアで実施するなどの協力を行っている。 【財務】 ①平成 24 年 4 月から公益財団正力厚生会「がん患者団体助成事業」の助成金交付を受けている。上限 500,000 円。	【組織】 【人材】 【財務】 【形態分類】 （病院主導型）（院内）（オープンスペース）（低コスト）

(3) 患者支援その他

グループ	調査先名称	実施団体	設置場所	特色（組織・人材・財務など）	本市で参考となる点・形態分類
東京	アピアランス支援センター ※がん患者の持つ外見の悩みをサポート 【病院主導型】	国立がんセンター中央病院スタッフ	国立がん研究センター中央病院 【院内】 【クローズドスペース】	【組織】 ①研究センターとして位置づけ。 【人材】 ①特に資格は必要としない。看護師、心理士が対応。 ②アピアランスセンター長が、全国で講義を実施。 ③がん患者の現役大学生が、「つけまつけのつけ方」の講義やメディア発表の司会を行うことがある。 【財務】 ①研究費で人件費を見ている（病院負担約 380,000 円）。 【その他】 ①日常生活だけではなく、各種イベント（結婚式、成人式、入学式などのコーディネートも行っている。 ②この分野のエビデンスは少ない（研究段階）。	【組織】 【人材】 【財務】 【形態分類】 （病院主導型）（院内）（クローズドスペース）
福井 （再掲）	メディカルカフェ（就労支援） 【病院主導型】	がん患者ピアサポートの会（代表は院内患者会に所属）	福井県済生会病院 【院内】 【オープンスペース】	【組織】 ①患者サロンの中で活動。 【人材】 ①月 1 回、就労支援担当相談員による相談を実施。 ②ピアサポーターの養成研修を院内医師がボランティアで実施。 ③元厚生労働省の就労担当者が立ち上げを準備。 ④就労問題はデリケートであり、病院窓口には苦情がある。 ⑤離職させない、復職できるような支援体制が課題。 ⑥福井県立病院、福井赤十字病院、国立病院機構福井病院が、就労支援を開始。これらの病院と連携協議会を設置予定。 【財務】 －	【組織】 【人材】 【財務】 － 【形態分類】 （病院主導型）（院内）（オープンスペース）

(4) その他

グループ	調査先名称	概要	特色	組織体制・予算・その他
名古屋	名古屋市健康福祉局 健康部健康増進課がん対策担当	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診台帳システム ・患者支援 ・学校教育 	<p>「がん検診台帳システム」: 平成 25 年度からシステムが稼働（開発業者は株式会社アイネス、入力業務も同じ）、過去の履歴情報は未入力、現在、台帳と検診票の不一致について、要精検分のみ紙ベースから再調査。</p> <p>「患者支援」: 平成 21 年度から、NPO 法人ミーネットに委託して事業実施（4 年契約）。常設は名古屋市のみ。</p> <p>「学校教育」: 公立小学校 6 年生、中学校 3 年生を対象に全員に教材配布、総合学習の枠で授業を行い、依頼があれば、市の保健師を派遣。</p>	<p>【組織体制】</p> <p>【予算】</p> <p>【その他】</p>
神奈川	神奈川県保健福祉局 保健医療対策課がん対策グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・がん対策課は、たばこ対策グループとがん対策グループで組織 ・がん対策グループでは、ピアサポート、情報提供支援、就労支援、学校教育の 4 つの柱で事業を実施 	<p>「ピアサポート」: NPO 法人キャンサーネットジャパン（CNJ）と協働実施。</p> <p>「情報提供支援」: がんサポートハンドブックを作成。</p> <p>「就労支援」: 民間事業所の保健担当者向け学習会、その他講演会の開催及び社労士の派遣の実施（モデル事業）。</p> <p>「学校教育」: 対がん協会の DVD、県独自の教材、がんサバイバーの講演の 3 つの教材を使用して、中学校 2 年生を対象に展開予定。</p>	<p>【組織体制】</p> <p>課長 1 名、副課長 1 名、たばこ対策 11 名、がん対策 9 名（すべて事務職員）計 22 名</p> <p>【予算】</p> <p>【その他】</p>